

けんぱくものしりシート

おてだま



おてだまは、^{ちい ぬの ふくろ なか あずき}小さな布の袋の中に小豆やじゅず玉等を入れたおもちゃです。
おてだまは^{おんな こ あそ}女の子の遊びでした。いくつかの玉を^{たま くうちゅう な}空中に投げて遊ぶ姿は、
まるで^{てじなし}手品師のようでもあります。^{おんな こ}女の子たちは^{さいしょ}最初はうまくできませんが、
^{かえ れんしゅう}くり返し練習するとある日突然できるようになりました。

いろいろな形のおてだま



おてだまの歴史

※かます…ワラで編んだ、^あ米や^{こめ}塩などを入れる^い袋^{ふくろ}。

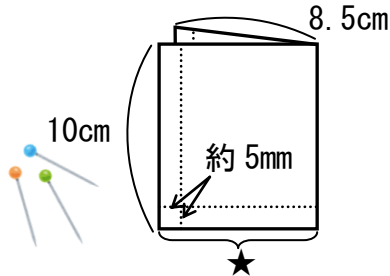
おてだまのルーツは^{なら}奈良時代に^{ちゅうごく}中国から伝えられた、^{つた}小石をつかった「^{こいし}石なご」という遊びだと言われています。^{いし}石なごは身分の高い人の遊びでしたが、^{あそ}平安時代になると一般の人々にも^{いっばん}伝えられ、^{つた}日本各地に^{ひろ}広がります。やがて、^{えど}江戸時代後半には布で^{つく}作ったおてだまが^{とうじょう}登場しました。



おてだまは^{うち}お家にある布を使って^{つか}お母さんや、^{おんな こ}女の子が^{つく}自分で作りました。ここで、おてだまの^{つく}作り方のひとつを^{しょうかい}ご紹介しましょう。

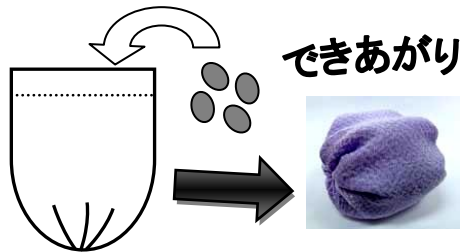
おてだまの作り方 (たわら型)

① 長方形の布を半分に折り、点線をぬう。
 (★部分はぬったらぎゅっとしぼりとめる)



② ウラ返しにし、あずきなどを入れる。

点線をぬってぎゅっとしぼり、
 中に端を入れてとじる。



できあがり!

おてだまのあそび方

●●●●● 投げ玉 ●●●●●

2個、3個あるいはもっと

多くの玉を両手に持ち、空中に投げてあやつります。



おてだまを歌にあわせて投げあげたり、
 取ったりして遊びます。



遊び方は大きく分けて2つあります。

●●●●● つき玉 ●●●●●

やや大きい親玉(1個)と小玉
 (5~6個)を用意します。

親玉を投げあげ、それが落ちてくる間に、床にばらまいた小玉を拾い集めて遊びます。



あなたのお家のおばあさんがおてだま名人かもしれません。おてだま遊びは脳を刺激して集中力があがるほか、最近ではお年寄りの認知症予防としても注目されています。大人や男の子でもぜひ一度遊んでみてくださいね。

参考 『お手玉 OTEDAMA』 文溪堂 1997年

『子どもに伝えたい伝承あそび一起源・魅力とその遊びかた』 萌文書林 2009年他

来月(7月)の
 けんぱくものしりシートは
 地質-13だよ!
 おたのしみに!



モッチャン



岩手県立博物館

〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷34
 Tel. 019-661-2831 Fax. 019-665-1214
<http://www2.pref.iwate.jp/~hp0910/>